島根県議会議員

# 坪内 涼二

# 県議会レポート VOL. 19

| 令 | 和 | 4 | 年 |
|---|---|---|---|
| | 1 | 月 | 号 |

## ご挨拶

令和４年を迎えました。令和３年も新型コロナウイルス感染症の影響に悩まされる一年だったと振り返ります。県も様々な対策を行いながら県民生活と県内経済の回復に取り組んでいますが、今年に入り、全国で急速に感染が拡大している状況です。

令和４年も新型コロナウイルス感染症への対応と人口減少対策をはじめとする島根創生の実現に向けて全力で取り組んで参ります。

## 県政報告会のご案内

**日時：令和４年２月６日（日）１０：００～**

**場所：パレットごうつ 大ホール**

- 感染症対策として席の間隔を十分にとり、換気と消毒を行い開催します。
- ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。せきや発熱などの症状がある方は、ご来場をお控え下さい。

## 11月県議会 こんなことが決まりました

### ● 令和３年度一般会計補正予算

（第８号）飲食需要の回復・拡大支援や商工団体の相談支援体制の強化など緊急に対応すべきものについて、総額18億円を措置するもの

（第９号）事業の執行状況により不用となった17億円を減額するとともに、医療提供体制・感染症対策や県民生活の回復に向けた施策など追加で対応すべきものについて、13億円を措置するもの

（第10号）新型コロナウイルス感染症の追加対策や国土強靭化対策など148億円を措置するもの

※第８号は、緊急に対応する必要があるため11月25日に先議、可決

### ● 令和２年度一般会計・特別会計決算

## 島根原子力発電所を視察

11月26日、島根原子力発電所対策特別委員会の調査で、中国電力島根原発を視察しました。原子炉建屋や緊急時対策所などを視察したほか、中国電力側から安全対策工事の実施状況などについて説明を受けました。

火災や地震対策に加え、敷地内への津波の浸水を防ぐため15mの防波壁の設置や、電源が喪失した場合の重大事故への対処としてガスタービン発電機を設置するなど、新規制基準に基づく安全対策の状況を確認しました。

12月20日には、中国電力担当者を参考人招致して、委員会審査が行われました。

## 11月補正予算の主な補正内容

| 事業名 | 金額 | 事業内容 |
|---|---|---|
| 飲食需要回復・拡大支援事業 | 6億3,000万円 | 額面7,000円分を5,000円で販売するGo To Eat食事券を45万組増冊するもの |
| 新型コロナ感染症対策調整費 | 9億円 | 緊急に対応が必要な支出に備え、枠予算（10億円）を復元するもの |
| 商工団体の相談支援体制強化 | 4,200万円 | 事業者の事業継続を支援する商工団体のリモート相談対応設備などを整備するもの |
| 受入医療機関に対する支援 | 4億5,670万円 | 感染症患者の入院受入・病床確保を行った医療機関に対し、支援金を交付 |
| 県立高校図書館の図書の充実 | 3,040万円 | 生徒の在宅時間に活用するため、県立高校図書館の図書を充実するもの |
| 県産品の販売促進キャンペーン | 4,329万円 | 県産品のPRや購入金額が税込5,000円以上の場合に送料を県が負担するもの |
| PCR検査無料化事業 | 17億3,200万円 | 健康上の理由等でワクチン接種を受けられない人に対するPCR等の検査を無料化 |
| 国土強靭化対策・TPP対策 | 130億154万円 | 河川堤防強化などの国土強靭化対策に111億円、農業用排水施設整備などに18億円 |

一般質問

## 11月県議会 一般質問の項目

1．投票率の向上と投票環境の整備について

2．北朝鮮による拉致問題及び拉致の可能性を排除できない行方不明者の真相究明について

11月県議会では、一問一答質問を行い、２項目の質問を行いました。今議会は、私を含め10月の衆議院選挙を受けて選挙や投票率、主権者教育に関する質問がたくさんありました。

投票所は年々減少傾向にある一方で、期日前投票を利用する有権者は増加しています。県内でも商業施設での期日前投や浜田市のように移動投票所の導入など投票機会の確保のための様々な取り組みが行われていますが、他の地域には広がっていません。前向きな答弁がいただけず、できない理由をあげるより、投票率向上のための取り組みを前に進めてほしいと注文を付けをつけました。

## 投票率の向上と投票環境の整備について

県内の投票所の推移はどうか。また投票所の減少が投票率に与える影響についてどのように考えているのか。

**選挙管理委員会委員長**　過去５回の国政選挙における県内の投票所数の推移は、全体として減少傾向にある。

| 平成26年<br>参議院選挙 | 平成28年<br>参議院選挙 | 平成29年<br>衆議院選挙 | 令和元年<br>参議院選挙 | 令和3年<br>衆議院選挙 |
|---|---|---|---|---|
| 671カ所 | 648カ所 | 647カ所 | 642カ所 | 636カ所 |

投票所数と投票率の因果関係を分析することは難しいが、投票所の統合等で、投票所への移動が負担となり、投票率の低下を招くことなどがないよう、引き続き投票環境を整えていく必要がある。

商業施設での期日前投票における若い世代の割合や、移動投票所で巡回した地域における投票率はどうか。また、商業施設等での期日前投票や移動投票所導入が進まない理由は何か。

**選挙管理委員会委員長**　商業施設へ設置した期日前投票所では、他の投票所よりも投票者数に占める若い世代の割合が比較的大きい傾向が見受けられる。また、投票所への移動の負担が大きい地域を移動して設置する期日前投票所については、投票率向上の観点から大変に意義のあることと考えている。

こうした取組が必ずしも全ての市町村において進んでいない理由としては、地理的な条件や人員の確保の問題のほか、選挙人名簿の対象において二重投票を防止するために必要となる回線環境の問題があることなどが考えられる。

来年の参議院選挙は合区選挙を強いられるが、合区対象県では投票率が下がっており、来年の参議院選挙に向け投票環境の整備による投票機会の確保を進めていくための決意を伺う。

**選挙管理委員会委員長**　投票は、主権者である国民が政治に参加し、その意思を政治に反映させるための最も重要な機会である。あらゆる有権者にとって、選挙において投票の機会が確保され、投票の際に生じる負担をできるだけ軽減できるよう、鳥取県選挙管理委員会と連携して取り組んでいきたい。

## 北朝鮮による拉致問題及び拉致の可能性を排除できない行方不明者について

北朝鮮による拉致の可能性を排除できない行方不明者の調査状況はどうか。

**警察本部長**　県警察において捜査、調査を行っている北朝鮮による拉致の可能性を排除できない行方不明者の数は10人であり、拉致の可能性を含め、事件、事故等、あらゆる可能性を念頭に捜査、調査を進めている。

拉致問題に関心を持ち続けるために、教育現場における「アニメめぐみ」を活用した授業ができないか伺う。

**教育長**　拉致問題啓発アニメ「めぐみ」のＤＶＤについては、平成20年度に全ての小中高、特別支援学校などに配付されている。県内の私立高校を含めた各学校における拉致問題をテーマとした授業の実施率は、平成30年度で22％であったものが、令和元年度が28％、2年度が32％と高まってきており中学校では、半数以上の学校で実施をしている。

今後も、拉致問題への理解促進を図るため、映像コンテンツを有効活用するよう、市町村教育委員会や教職員に働きかけていく。

拉致の可能性を排除できない行方不明者の問題に対する県民の認知は低い。ご家族や支援者の生の声を県民に聞いていただくことが県民世論の喚起につながると考えるが、県の支援によりできないか伺う。

**総務部長**　県では、ホームページにおける情報提供の呼びかけのほか、北朝鮮人権侵害問題啓発週間において、県庁ロビーなどでパネル展を行い、啓発に努めている。行方不明者の御家族等の声を県民に届けることは、県民世論を喚起するため有効であるので、どういう形でできるのか考えたい。

島根県議会議員　坪内涼二事務所
〒695-0011　島根県江津市江津町1520-61
TEL:0855-52-7511／FAX:0855-52-7510

活動報告など情報発信中！

ホームページ　ＬＩＮＥ　facebook